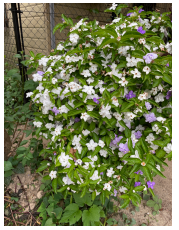
みんなの古小島こうえんだより

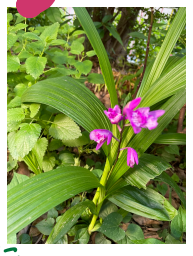
No.31
新緑号
2024.5.21

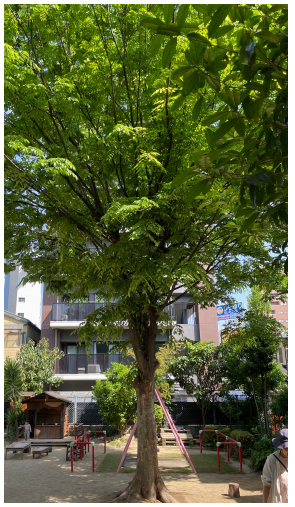

ニオイバンマツリ

びわがたくさん

畑のじゃがいも

公園の新緑が美しい季節となりました。
多くの皆さんが心地よさそうに過ごされたり
子ども達が楽しそうに遊ぶ姿が見られ
嬉しい日々となっています。
これからも、街のよりよい場所となるように
公園の植生を大切にしていくために、公園内の
土中環境(土の中)が豊かになっているのか、考えて
みようと試みています。





三エロさんのお手入れコスモス

さくらの木がンバレ!!

昨年、伐採された木の幹から
ひこばえが何本か出て
きました。それを1つに束ねて
さくらの木再成を目ざしています。
ぐんぐん伸びて花を
咲かせてくれることを願っています

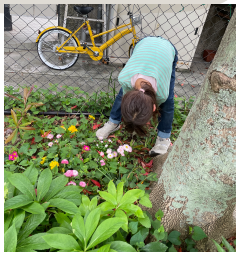
なぜなぜ土中環境が大切なの?

夏、大木のそばに立つと心地よい涼気を感じるのは、木陰のせいだけではありません。根から吸い上げた水を気化して葉から放出する「蒸散」が活発になり、周囲から気化熱を奪って冷却してくれるからです。真夏でも途切れずにこの冷却が行われるためには、樹木が深くまで根を張り、土中に大小無数のすき間が保たれて大量の水が蓄えられて、それが滞りなく吸い上げられる環境が必要です。樹高10m超の健康な高木が夏の1日に蒸散する水の量は、190リットル（ドラム缶1本分）にも及ぶといいます。

地球字宙の自然読本より抜粋

どうやってみるの?

先日、保育園の園児(小学生)の力をかりて
「公園を元気にするプロジェクト」と称して
固い土壌に、小さな穴をたくさん掘り
その中に枯れ葉を入れる(葉っぱ夕ダ作り)
作業を行いました。目的は、その小さな穴
に雨水が入り込み土壌に水を浸透させ
たり、空気の道を作ることで、木を元気にしていく
ことです。地道に続けてみようと思っています
ご興味のある方は、ご協力下さると嬉しいです。

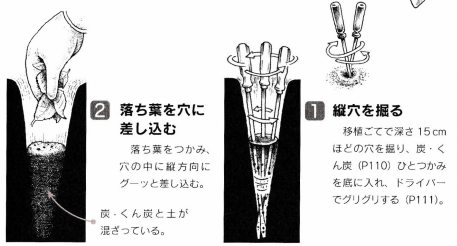


元気になると

- 木の周りに草が生える
- 木が健康になり、害虫がつかなくなる
- 空気と水の循環がおこる

生態系が豊かになる

参照:「よくわかる土中環境」高宮宏氏



古小島公園愛護会(いふくまち保育園内 高倉まで)
(福岡市中央区公園維持管理課の指導の元で活動しています) TEL 092-406-8329